

令和4年度 第1回鴨川市図書館協議会 会議録

1. 日 時 令和4年5月25日(水)
開会：午後3時 閉会：午後4時20分
2. 場 所 鴨川市立図書館 集会室
3. 出席者
【委員】 高木修平委員 (学校教育関係者)
山口健一委員 (学校教育関係者)
高橋和夫委員 (社会教育関係者)
三沢裕美委員 (家庭教育の向上に資する者)
渡邊隆委員 (学識経験者)
【事務局】 鈴木希彦教育長、石川丈夫課長、蒔苗茂館長、
洲永美奈子主査
4. 欠席者 吉野理恵委員 (学校教育関係者)
5. 傍聴人 0名
6. 会議概要 別紙のとおり

1. 開 会

(事務局 洲永)

本会議議題まで、事務局洲永が進行。

この会議は附属機関設置条例に基づき開催される。委員の過半数の出席があり、本会議が成立することを報告し、開会を宣言。

2. 委嘱状交付

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、机上にて配布。

任期満了後、初の会議のため、各委員より自己紹介。

高木修平委員、山口健一委員、高橋和夫委員、三沢裕美委員、渡邊隆委員

3. 教育長あいさつ

鈴木希彦教育長より挨拶。

4. 会長・副会長の選出について

会長、副会長を互選により選出。

委員より、選出については事務局に一任するとの声があった。

他委員より賛成の声あったため、蒔苗図書館長より、会長に渡邊隆委員、副会長に高橋和夫委員を提案。

全委員より賛成の声があり、渡邊隆会長、高橋和夫副会長に決定。

5. 会長あいさつ

渡邊隆会長より挨拶。

6. 議題

渡邊会長、議長席につき進行。

渡邊議長より、会議録署名人に三沢裕美委員を指名。

(渡邊議長)

議題1 令和3年度鴨川市立図書館事業報告について、事務局に説明を求めた。

(事務局 洲永)

会議資料に基づき説明をした。

(渡邊議長)

議題1について、委員に質疑及び意見を求めた。

(山口委員)

コロナが広がり大変な思いをして開館していると思うが、来館者0という日もあったのか。

(事務局 洲永)

0人という日は無かったが、コロナ前と比べると大きく来館者は減っている。

(山口委員)

来館者は減っても図書館は迎える職員の意識がとても高いと感じる。市民の方も外出は控えるといっても、多くの人が図書館を必要としている。今後も利用者のために様々な取り組みを実施して欲しい。

(渡邊議長)

資料 2 で多くの行事を行っている説明があつたが、スタッフ何人で図書館運営をしているのか。

(事務局 蒔苗)

図書館は正職員 3 名、任用職員 5 名。週 5 日勤務の人と週 4 日勤務の人、延長の時間だけの人となっている。開館時間を延長しているため、時間をずらし、シフト制で勤務している。土日祝日を含め、朝の出勤人数、夕方残る人数、会議、行事など、いろいろな条件を考えながら勤務体制を考えるのに苦労している。

(渡邊議長)

ホームページの更新やカウンターでの接客、様々な行事やサービスについて、とても評判が良い。たった 8 名のスタッフでやっているという事に、一人ひとりの仕事への意識が高いことがわかる。

(事務局 蒔苗)

嬉しい言葉をいただいた事、全職員に伝えたいと思う。

(渡邊議長)

議題 1 令和 3 年度鴨川市立図書館事業報告について、承認する委員に挙手を求めた。
全委員の挙手を認め、議題 1 について承認された。

(渡邊議長)

議題 2 令和 4 年度運営方針・実施概要等について、事務局に説明を求めた。

(事務局 蒔苗)

会議資料に基づき説明をした。

(高木委員)

住まいが南房総市のため、鴨川の図書館は来た事がなかったが、文学講座や俳句講座など素晴らしい講座をしていると感心した。講座の内容はどのように決めているのか、また、講師はどこから見つけてくるのか。

また、中学校で方丈記を扱っているため、学校と連携して生徒が参加できるようになれば、もっと子どもたちの関心を深める事ができるのではないかと感じる。対象を広げ、中学生も参加できるようにしてもらえたら良いと思うがいかがか。

(事務局 蒔苗)

講師はなかなか見つからないのが現状。現在の講師は、生涯学習課の大学連携事業の際一度依頼した古典文学が専門の講師。以前は「伊勢物語」を依頼したが、ほかにご教示願えるものの中に「方丈記」があつた。災害や戦の多かった時代を強く生きぬいた鴨長明の「方丈

記」は、自然災害や新型コロナウイルスの影響を大きく受けている令和に生きる私たちに、少しでも生きるヒントを貰えたらと思い依頼した。

当館の文学講座は成人向け講座の要と考えているため、学校と連携して実施する考えは今のところない。

(高橋委員)

生涯学習課での子ども会の会議の席で、図書館や資料館のような公共施設を、もっと利用してもらえよう、アンケート調査をしたらどうかという話をしている。子ども会を通して、市民がどのようなものを求めているのかを調査したいと考えているので、一緒に調査したらどうか。

(渡邊議長)

質問に対して生涯学習課としての回答を求めた。

(事務局 石川)

文化施設全体の問題として調査していきたいと考える。その節はご協力いただきたい。

(三沢委員)

コロナがまた子どもたちの間で広がりつつある。小さなお子さんの参加を控える保護者も多いので、館内だけでなく広い公園でお話を開催したら、安心して参加する家族も増えるのではないかな。

(事務局 洲永)

お子さんを持つ保護者は、コロナ禍でどのように公共施設を利用するかいろいろ検討していると思う。広い場所での読み聞かせは良いと思うが、公園となると道路を渡らなければならないため、いろいろな対応が必要となる。今後ボランティアさんたちとも相談していきたい。

(山口委員)

返却されない本についての対応は大変だろうと推察する。スタッフ8名でローテーション勤務となると通常の業務と別に督促の作業も苦勞が多い事だろう。

(事務局 洲永)

督促については、間違いがあつてはならない作業。館内に確かに返却されていないかを確認し、電話や督促状を送るなどしている。かなりの時間を要するため苦勞は多い。

(山口委員)

高校生は学習にタブレットを使用することが増えた。コロナもあつてオンラインでの学習が必須である。図書館はWi-Fiも利用できるの、学習環境としても有難い。また、長狭高校では高校では珍しく朝読書の時間を設けている。学生も自然にその時間を過ごしていてとても良い習慣である。引き続き推進していきたい。

(渡邊議長)

議題2 令和4年度運営方針・実施概要等について、承認する委員に挙手を求めた。

全委員の挙手を認め、議題2について、承認された。

(渡邊議長)

以上で議題は終了。議事の進行は事務局にお返し、議長を退かせていただく。

渡邊議長、自席へ

(事務局 洲永)

議事が終了したので、進行を引き継ぐ。

7.その他

(事務局 洲永)

資料とは別に配布した行事チラシや新刊案内等の説明をした。

8.閉会

(事務局 洲永)

以上をもって、令和4年度第1回鴨川市図書館協議会の閉会を宣言。

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条3項の規定により、会議録の確認をいたしました。

令和4年 8月 30日

会議録署名人

鴨川市図書館協議会委員 三沢 裕美
